

現地試走会の概要(計測項目等)

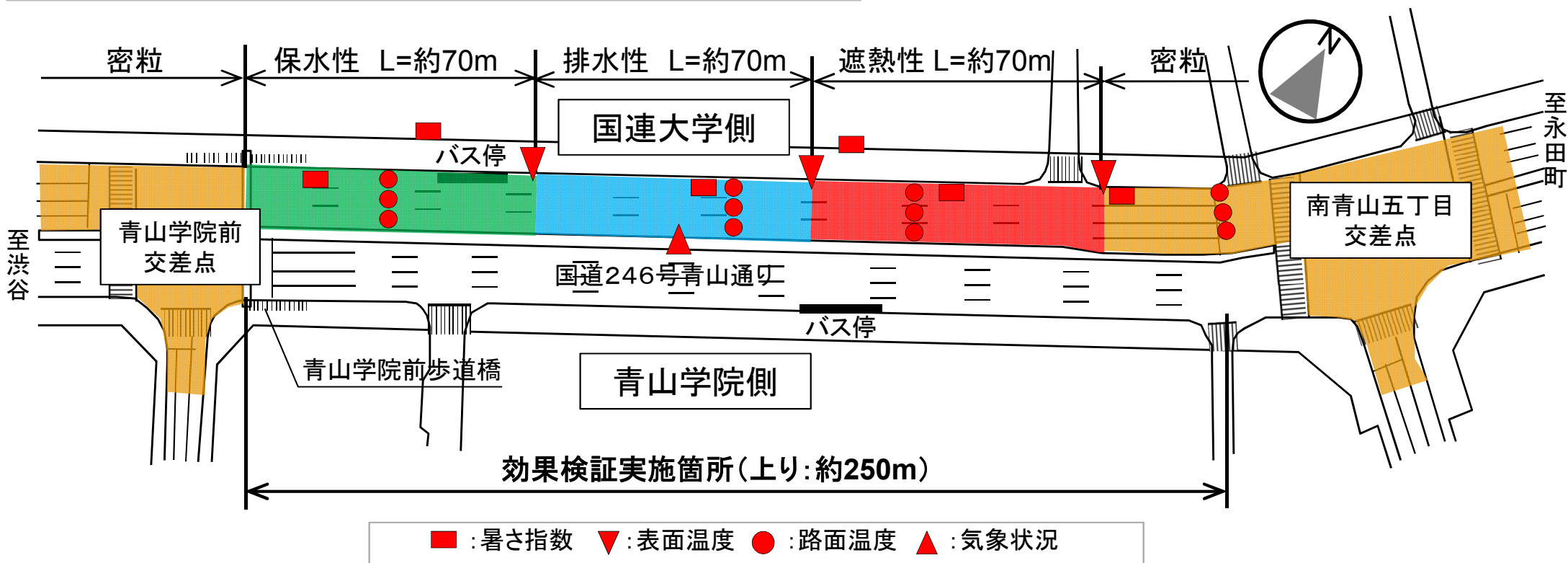
路面温度の上昇を抑制する保水性舗装及び遮熱性舗装について、試走や踏査を通じて、その効果を体感頂いた。また、散水を行い、その影響を確認頂いた。

計測項目

- 1) 暑さ指数 : 黒球温度、温湿度(地上0.5m・1.5m)
- 2) 表面温度 : サーモカメラ(固定計測, 移動計測)
- 3) 日射の地面反射率 : アルベド(移動計測)
- 4) 路面温度 : (舗装表面から1cm下で連続計測)
- 5) 気象状況 : 日射量、降水量、気温・湿度、風向・風力

散水

- 1) 散水量 : 1mm
- 2) 散水方式 : 第1第2走行車線、延長約250mを4台で散水
- 3) 水の種類 : 下水の再生水



現地試走会の概要(実施内容)

平成28年8月31日(水) 10:30~13:00(実験実施時間)

- モニター実験 : 各種舗装の違いを体感
- 試走 : 各種舗装の違いを体感
- 舗装デモ : 各種舗装の特徴説明
- 散水 : 第1、第2走行車線に散水
- 試走 : 散水の効果について体感
- ぶらさがり取材 : 感想や質疑応答
- モニター実験 : 散水後の違い等を体感

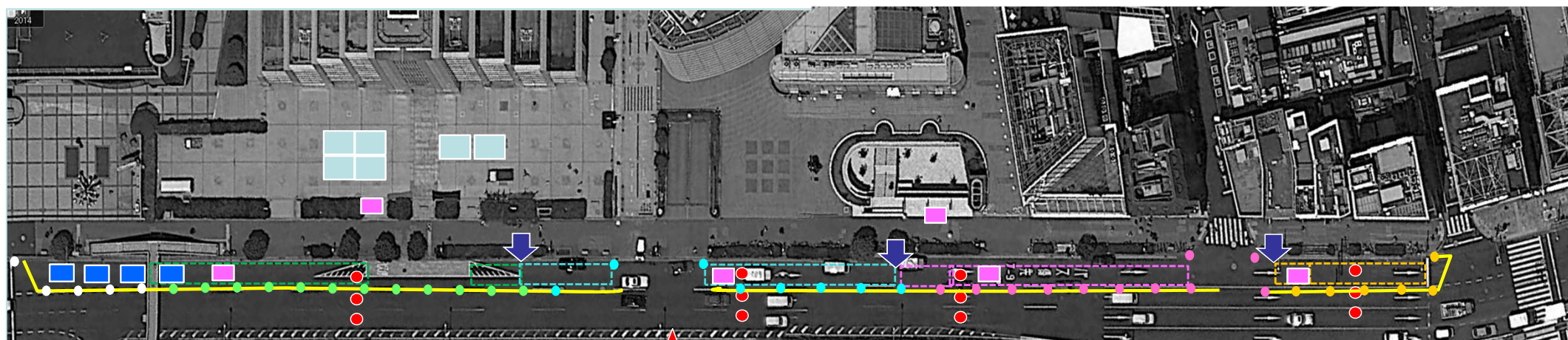
※青字部分は
現地試走会
の前後で実施

計測機器(常設)

●	路面温度
▲	気象観測

計測機器等(当日設置)

■	暑さ指数
■	散水車
↓	サーモグラフィ
□	テント



保水性舗装

排水性舗装

遮熱性舗装

密粒舗装

現地試走会の概要(実施の様子と試走者の主な意見)



【主催者挨拶】
田中 良生
国土交通副大臣



【来賓挨拶】
丸川 珠代
東京オリンピック・パラリンピック大臣



【座長挨拶】
屋井 鉄雄
東京工業大学大学院教授



【試走】



【舗装温度の確認】



【舗装デモンストレーション】



【散水】



【報道機関の取材】

試走された方の主な意見

- 遮熱性舗装は、散水しても蒸し暑くない。他の舗装は、湿気が上がってきていた。
- 私たちはタイヤを使って走るのだから、心配になるのだが、日本の道路は心配が少ない。バリアフリーや沿道の整備も含めて、車いすやベビーカーも通りやすい道路を世界に広めてほしい。
- 快適な道づくりは、舗装だけで対応できるものではなく、観客にもやさしい道である必要がある。沿道の協力も得て、バリアフリー化、緑化等、行政がトータルで考えて議論を続けてほしい。

現地試走会時の表面温度

舗装種類

9:00

11:00

(散水前)

11:30

(散水直後)

12:10

保水性舗装

35.9°C

48.3°C

43.0°C

40.6°C

排水性舗装

38.1°C

52.0°C

44.1°C

50.7°C

遮熱性舗装

33.8°C

47.2°C

41.6°C

44.8°C

密粒舗装

40.5°C

52.0°C

47.1°C

51.7°C

※現地試走会時に速報値として示したものの。

※サーモグラフィで舗装表面の温度を測定しており、日射の影響等を含んだ参考値です。